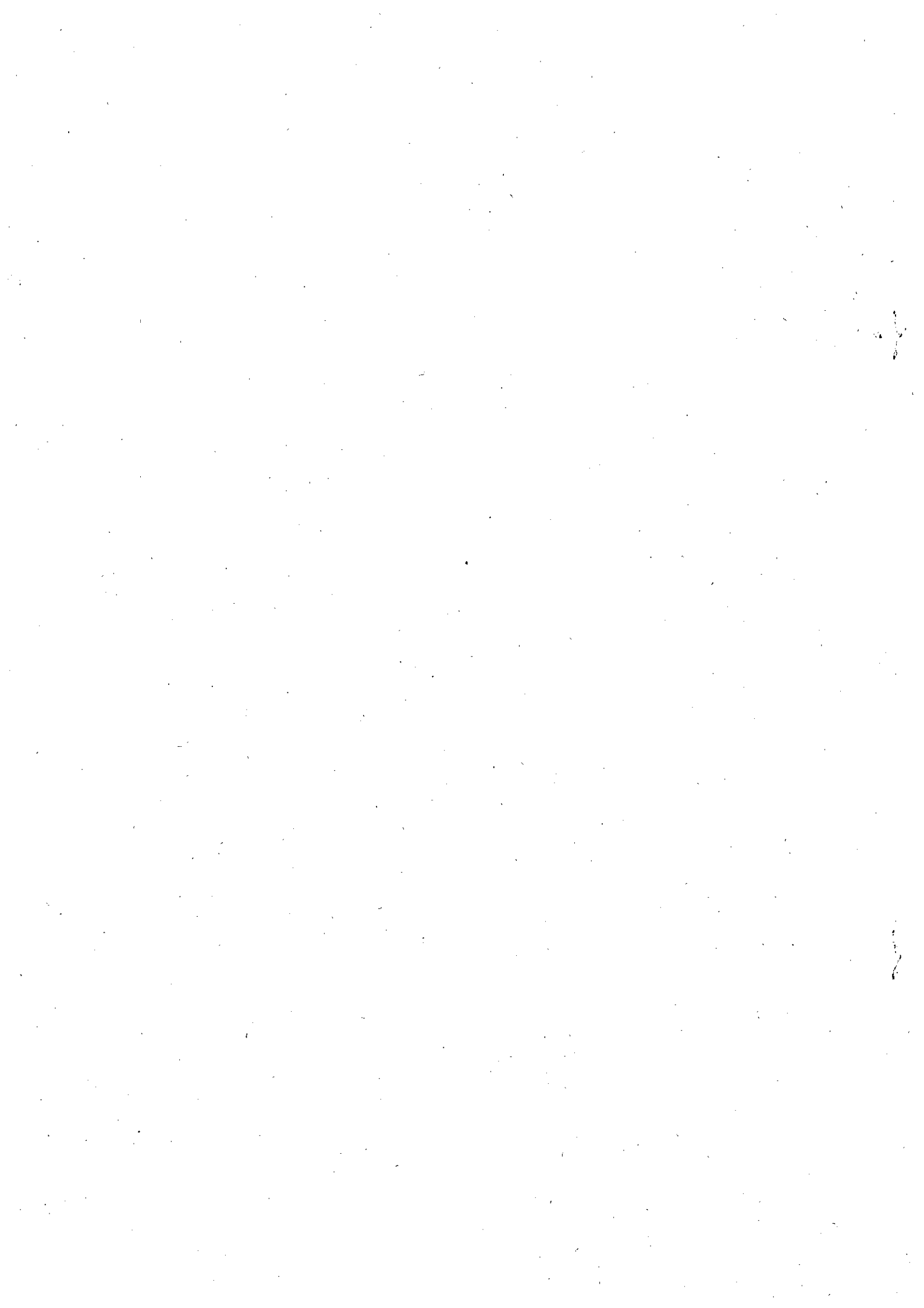


農林水産商工常任委員会資料

(平成25年3月18日)

項目	ページ
1 鳥取県経済再生成長戦略(素案)の概要について 【商工政策室】……………別紙	
2 「知的財産活用グローバル展開セミナー 韓国江原道企業との連携による医療機器産業への参入」開催結果について 【産業振興総室(産学金官連携室)】……………1	1
3 「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について 【市場開拓課】……………2	2

商工労働部



「知的財産活用グローバル展開セミナー 韓国江原道企業との連携による医療機器産業への参入」の開催結果について

平成25年3月18日
産業振興総室
産学官連携室

医療機器分野への参入及び海外での事業展開支援を目的とし、「知的財産活用グローバル展開セミナー 韓国江原道企業との連携による医療機器産業への参入」を開催しました。

1 背景

本県と交流のある韓国江原道には、韓国有数の医療機器開発企業の集積地である原州（ウオンジュ）市があり、韓国の医療機器輸出額の約4分の1を担っている。現地には高度な加工ができる企業が少なく、製品の信頼性の向上のために日本企業との共同開発・部材調達を希望している企業が存在するとのことであり、この度は現地企業に精通した財団法人原州医療機器テクノバレーの李院長を招き、現地の医療機器産業の状況等を紹介していただいた。また、セミナー開催前後には県内企業を訪問し意見交換を行った。

2 セミナー概要

- ◇日時 平成25年3月6日（水）午後2時～5時
- ◇会場 ホテルモナーク 仁風の間 東（出席者42名：企業14社）
- ◇主催 鳥取県、公益財団法人鳥取県産業振興機構、ジェトロ鳥取
- ◇内容

講演Ⅰ

演題「韓国と日本の医療機器部品素材連携協力（日本からの部材調達）」

講演者 財団法人原州医療機器テクノバレー

院長 李 原馥（リー ウォンボク）氏

企画チーム 代理 徐 廷赫（ソウ ジョンヒョク）氏

講演Ⅱ

演題「海外事業展開に向けた課題」

講演者 独立行政法人工業所有権情報・研修館

海外知的財産プロデューサー 茂木 裕之（もぎ ひろゆき）氏

◇企業の声

- ・部材等のニーズがある事を初めて知った。お互いにWin-Winの関係で事業を進めていきたい。
- ・当社が提供する部品を使った医療機器を国内企業は作っていないため事業が進んでいなかったが、これをきっかけに韓国企業と連携して世界市場に参入したい。
- ・魅力的なプランだが、企業単独で相手を探すのは難しいため、鳥取県が間に入りマッチングの場の提供等を行ってもらえれば前に進みやすくなる。

3 今後のスケジュール

- ・第4回北東アジア産業技術フォーラム〔於：江原道、5月下旬開催予定〕において、医療機器等の共同開発を目的に、県内企業（未定）が自社技術のプレゼンテーションを行う予定。
- ・原州市の企業を招き県内企業との商談会を開催予定（時期未定、産業振興機構実施事業）。

「食のみやこ鳥取プラザ」の状況等について

平成25年3月18日

東京本部

市場開拓課

1 運営状況 <来客数・売上高>

区分	物産店舗				レストラン			
	買物客数	営業日数	売上高(千円)	対前年比	来客数	営業日数	売上高(千円)	対前年比
H20年度	37,662名	211日	50,229千円		13,497名	171日	50,092千円	
H21年度	73,887名	361日	92,904千円		21,972名	291日	75,727千円	
H22年度	69,006名	362日	91,164千円	98.1%	18,545名	293日	60,283千円	79.6%
H23年度	80,358名	363日	119,671千円	131.3%	19,195名	292日	63,780千円	105.8%
H24年度								
4月	6,373名	31日	8,729千円	106.5%	1,357名	24日	4,112千円	78.0%
5月	6,504名	31日	9,083千円	111.8%	1,314名	24日	3,868千円	82.2%
6月	6,601名	30日	9,384千円	107.3%	1,424名	26日	4,072千円	76.6%
7月	6,924名	31日	10,213千円	112.8%	1,466名	25日	4,108千円	78.1%
8月	6,468名	30日	9,345千円	97.5%	1,626名	25日	4,161千円	66.4%
9月	6,569名	30日	10,461千円	102.1%	1,403名	23日	4,024千円	79.4%
10月	6,372名	31日	9,195千円	89.0%	1,578名	26日	4,182千円	69.9%
11月	6,403名	31日	10,511千円	88.3%	1,409名	23日	3,681千円	62.8%
12月	6,885名	31日	12,193千円	93.2%	1,556名	24日	5,319千円	92.1%
1月	5,135名	28日	7,616千円	86.9%	1,225名	20日	3,071千円	79.8%
2月	5,222名	28日	7,944千円	70.4%	1,076名	21日	2,794千円	53.7%
計	69,456名	332日	104,674千円	95.76%	15,434名	261日	43,392千円	74.1%
合計	330,369名	1,629日	458,642千円		88,643名	1,308日	293,274千円	

2 レストランリニューアル後の状況について

2月4日に1階「食のみやこ鳥取プラザ」との連携強化、ディナー価格の見直しを図るなどリニューアルしたレストランだが、集客・売上とも厳しい状況が続いている。

【ランチ】引き続き好評。中でも、ズワイガニを使ったパスタに人気がある。

【ティータイム】新たに設けた営業時間帯だが、認知不足で来客が少ない。

【ディナー】リーズナブルな価格に改定した影響もあり厳しい実績だが、レイン55を使ったフェアは好評だった。

【課題】悪天候や価格改定などの影響で集客・売上ともに厳しい実績であり、ティータイムの周知など集客を確保するためのPRが必須である。

【対応方針】運営事業者と連携し、ティータイムの周知などのPRに努める。

3 県フェア（レストラン）の開催について

県のブランド化推進食材の認知度向上を図るため、オレイン55をメインに特別メニューを開発し、フェア期間中は通常より安価で提供した。

【開催期間】平成25年2月18日（月）～3月2日（土）

【提供メニュー】「トットリーネ」全7品 2,800円（5,500円相当）、「ふるさと」全8品 4,700円（6,500円相当）

【使用食材】県産ササゲ、鳥取野菜、牛骨スープ、県産鮮魚、レイン55

【成果】当初100食の想定に対し、120食程度の注文があり好評だった。

4 県産食材PR試食会の開催について

県内の優れた食材のPR等を目的に、首都圏のレストラン関係者、料理関係雑誌編集者等を招き、公募により決定した県産食材（15食材・8生産者（販売者））を使用したメニューの提案・試食を行う試食会を開催した。

【開催日、場所】平成25年3月8日（金）、アンテナショップレストラン「トットリーネ」

【参加者】首都圏レストラン関係者、料理関係雑誌編集者等 56名

加工品	ドレみそゴールド（金山寺風味噌）、白ネギパウダー、白ネギ乾燥、シャーベット
肉類、魚介類	黒毛和牛肉、長熟ロース（豚肉）、パイ貝
乳製品	牛乳、カチョカバロ、さけるチーズ、アイスクリーム
野菜類	アロエベラ生葉、白ねぎ、エシャロット、ブロッコリー

【成果】生産者が県内から出席し、直接食材をPRした。招待者から生産者にサンプル依頼があるなど、販路開拓のきっかけになった。

5 今後のイベントの予定について

【物販】・3/18～21 「大山こむぎ」とそれを使ったパン等の販売

・3/24～29 豆乳たっぷりシフォンケーキ、まるごと大豆カレーパンの試食販売

【飲食】・3/18～29 鳥取県フェア（PR試食会で開発したメニューを使用）